

朝鮮史研究会 第63回大会

日 時 10月17日（土）・18日（日）

会 場 桃山学院大学和泉キャンパス（大阪府和泉市）1号館

参加費 一般1,500円・学生1,000円

【第一日】10月17日（土） 13時より受付・13時30分開始

◎講演 1-410教室

大澤研一「朝鮮通信使の宿泊地における迎接態勢について
—都市大坂の事例から—」

文京洙「戦後在日朝鮮人史への視点—民族の論理／住民の論理」

◎総会 16時～／懇親会 18時～ 一般5,000円・学生3,000円

【第二日】10月18日（日）パネル：9時受付・9時30分開始

全体会：12時30分受付・13時開始

パネル①「戦後」を越境する朝鮮—
1960～70年代日本の社会・文化における
植民地主義の残響

（1－303教室）

報告者：韓昇熹／鞠承仁／孫長熙

パネル② 安倍能成〈再評価〉の試み
—京城時代の日記を手がかりに

（1－304教室）

報告者：通堂あゆみ／許 智香／永島広紀／
高田里恵子

パネル③カトリック教会の日韓連帯
—「境界」を越えて可能性をつなぐ

（1－305教室）

報告者：趙基銀／古屋敷一葉／大嶋徳

パネル④ 文化コンテンツを活用した朝
鮮史・朝鮮文化教育の実践と課題

（1－306教室）

報告者：山本浄邦／青野正明／崔誠姫

全体会：1-410教室

朝鮮史上の「戦後」

—古代から近代まで—

金秀鎮「唐朝出仕高句麗遺民の新しい
類型—最近報告された「大相惠墓誌
銘」を中心に—」

（発表言語：韓国語・通訳あり）

李晔鎮「朝鮮からみた「乱後の余威」
—17世紀の日朝関係と対馬藩—」

熊野功英「日露戦争以降の朝鮮におけ
る軍用地問題とその再燃—平壤を対象
として—」

総合討論

こちらのQRコー
ドから参加申し込
みをお願いします。



朝鮮史研究会 <http://chosenshi.gr.jp/>

（関東部会）〒186-8601 東京都国立市中2-1一橋大学大学院社会学研究科 加藤圭木研究室気付
（関西部会）〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学グローバル・スタディーズ
研究科 太田修研究室気付